

青柳ノ移民計画ニ関シ移民取扱人ノ意見ヲ徵シタルニ対シ答申ノ件

答申書

去月十九日ヲ以テ御口達相受候青柳郁太郎氏ノ伯国移民新計画ニ関シテハ弊社ハ現ニ移民取扱人ノ資格ヲ有セザル者ガ猥ニ此種ノ運動ヲナスハ弊害多ク直接間接ニ当業者ノ權利ヲ侵害致候事ト奉存候

然レドモ同国ニ於ケル移民事業ハ将来頗ル發展ノ余地有之候ハ申ス迄モ無之弊社トシテハ斯業ノ健全ナル発達ハ元ヨリ希望致ス処ニ候ヘバ該計画ガ果シテ堅実穩健ナルモノニ候ヘバ弊社ハ充分考慮ノ上万全ノ策ヲ講シ度存居候御下問ニ対シ弊社所見ノ大要上申仕候也

大正二年十二月十七日

東京市京橋区新肴町十番地

東洋移民合資会社

社長 川 田 廳

外務省通商局長 坂田重次郎殿

二〇五 十二月二十二日

牧野外務大臣ヨリ
在伯国畑公使宛

青柳ノ移民計画ニ対スル移民取扱人ノ答申書

写送付ノ件

通送第一〇四号

本件ニ関シ貴電第二〇号等ニテ御稟報ノ次第モ有之当方ニ於テモ為參考關係移民取扱人ノ意見ヲ徵シ置候処別紙寫ノ通り答申書差出候ニ付右ハ貴方ニ於テモ何等御參考ト可相成ト被存候条右寫茲ニ供貴覽候也

注 別紙前掲ニ付省略

事項一一「アルゼンティン」移民雜誌

二〇六 十一月二日

在亜国日置公使ヨリ
牧野外務大臣宛

「アルゼンティン」在留本邦人ノ情况及亜国人ノ对本邦感情報告並我領事館設置ノ必要稟申ノ件

亜公信第三号

(十二月廿三日接受)

大正二年十一月二日

在亜国

特命全權公使 日 置 益(印)

外務大臣男爵 牧野伸顯殿

本官国書捧呈ノ為メ曩キニ亜国ニ出張シ本年四月十一日ヨリ同年六月十五日迄滞在中調査シタル在留本邦人ニ関スル情况概要左ニ報告致候

在留民ノ情况 無限ノ富源ヲ有セル亜国産業ハ驟々乎トシテ發展シ国運ノ隆盛実ニ人目ヲ眩惑セシムル計リナリ左レバ欧洲ヨリ移入シ来ル資本及労働者ノ数頗ル大ナルニモ拘ハラズ事業界ハ尚ホ常ニ此二者ノ欠乏ヲ訴ヘテ已マズ一

一一「アルゼンティン」移民雜誌 二〇六

九一二年ニ於ケル外国移民(主トシテ欧洲)無慮三十二万三千四百余人ニ達セリ亜国ニ於ケル本邦人ノ数モ漸次増加ノ勢アリ而シテ此等ノ増加ハ主トシテ伯、秘両国ヨリ転航者並ニ本邦ヨリノ直航自由移民ニ因ルモノトス海外在留者中我公館ニ届出ヲ為スモノ寧ロ少数ナルヲ以テ在留本邦人ノ現在數ハ之ヲ正確ニ知ルヲ得ザルモ現今同地ニ久シク在留シ同胞ノ往来ニ精シキ一邦人ノ推測ニヨルニ其數一九一〇年頃ニ於テハ約四百名ナリシガ今日ニ於テハ優ニ千以上ニ達セルナラント云ヘリ左記在武愛市郵便局カ本官ノ依頼ニ応シ調製シタル送金表ハ同国ニ於ケル本邦人ノ異動ニ関スル唯一ノ確實ナル材料ナリトス

在留本邦人武愛市郵便局經由送金表

年 次	回 數	一口平均高	總 高
一九〇七	二	二元、三	二五、六、五
一九〇八	四	三元、〇	一七、三、三
一九〇九	三	五、四	一六、三
一九一〇	一五	一九、五	三〇、九、四、四

二九一

一九二一	三〇	五、四、七	六、三、四、六
一九二二	三九	二、五、〇	一〇、一、五、〇、五
一九二三	一三	一、〇、〇	五、〇、六、三
(二月乃至三月)			

今仮リニ前記送金表ヲ基礎トシ計算ヲ試シニ一九一〇年ニハ四百人ニテ一五五口ノ送金ヲ為シ居ルヲ以テ其送金一口ニ対スル人数ニ、五八ナリ而シテ一九一一年ニ於ケル送金口数其前年ニ於ケルモノヲ超過スルコト一一五ナルヲ以テ之ニ二、五八ヲ乗スル時ハ二百九十六人余ヲ得仍テ一九一一年ノ本邦在留民数ハ六百九十六人余ト成ル同一ノ方法ニヨリ一九一二年ニ於ケル数ヲ求ムルニ一〇〇八人ヲ得此数即前記推定数ニ符合ス

在留届ニ基ク県別表ニ於テ沖縄、鹿児島多数ヲ占ムル処ヨリ推測スレバ現亜国在留本邦人ノ大部カ伯国ヨリ転入シタルコト明瞭ナリ而シテ彼等ノ大多数ハ武愛市ニ留リ各種工場ニ労働シ一部ノ者ハ家内労働ニ従事シ或者ハ又農業ヲ試ムルモ是等ハ寧ロ其ノ数少ク且ツ無思慮無經驗ノ結果企業ノ成績未ダ微々トシテ振ハザルナリ労働賃銀ハ一日紙幣二弗乃至八弗(紙幣弗ハ約我八十五錢ナリ)家内労働ハ食住主人持ニテ月四十弗以上料理人自動車運転手等ノ如キ堪能

ナル特別ノ技能ヲ有スルモノハ食住主人持ニテ月二百弗内外トス。在亜本邦労働者ノ生活状態ハ其ノ現状ヲ視察シタルニ之ヲ歐洲移民ノ状態ニ比シ敢テ遜色ナキヲ認メタリ概シテ活計ハ裕福ニシテ彼等ハ現状ヲ以テ旧ニ優レル幸福ノ地位ト思惟スルモノノ如シ。我移民ニ対スル世間ノ評判敢テ悪カラズ中ニハ之ヲ以テ歐洲移民ニ優ルカ如ク称揚スルモノサヘナキニアラザルモ概シテ軀幹矮小、容貌醜惡、言語不通、習俗奇異ナル等ノ事情ノ為メ一異人種トシテ待遇セラルルヲ免レス且ツ歐洲移民ニ比シ劣等者ト一般ニ看做サレ居ルコト是亦事實ナリ今日亜国ニ於テ日本移民ガ容認サレ居ル特殊ナル理由ハ(一)同国ニハ契約移民ノ方法ニヨリ一時ニ多数ヲ招致シタルコトナキコト(二)歐洲移民ノ不足ナルコト(三)邦人ノ労働賃銀廉ナルコト等ニ帰スルモノナリト信ズ

対本邦移民感情 亜国人一般ノ感情ハ亜細亞人ノ移入ヲ好マス反對ノ傾向ヲ有スト云フベシ前年同国政府カ檢疫問題ニ関シ伊太利政府ト葛藤ヲ生シタル結果亜国行移民ヲ全然禁止セラレ為メニ農作物收穫ニ際シ労働欠乏ノ大恐慌ヲ惹起シタル時ニ於テスラ曾テ一亜国新聞紙ノ本邦移民輸入

ヲ提唱シタルモノナカリシニ鑑ミテモ其大勢ノ一班ヲ推知スルニ足ルベシト信ス現ニ知名ノ政治家中其ノ名ヲ掲ケテ日本人ノ移住ニ反對論ヲ公ニシ憲法ニ「歐洲移民ヲ奨励スベシ」トアルハ即チ其以外ノ移民ヲ排斥スベキ事ヲ意味スルモノナレハ政府ハ当然亜細亞移民ヲ拒絶スベキ義務ヲ有スト説クモノアリ又新聞紙中其度合ニ於テ差異アルモ執レモ排日移民ノ傾向ヲ有セサルモノナク彼ノ有力ナル「ラ、

プレンサ」(La Prensa)新聞ノ如キモ折リニ触レ機ニ投シテ其氣勢ヲ洩ラスコト少シトセス唯今日ニ於テハ其非常ナル事業ノ發達ニ伴フ労働ノ需要盛ンナルト同国ニ於ケル社会上ノ發達ガ未タ労働組合ノ如キ機關ノ設備ヲ熟セシムルニ至ラサルト政治上ノ競争カ多ク少数有力家ノ間ニ決定セラレ選舉ニ際シ投票ノ多数ヲ占ムルノ方法自ラ北米ノ夫レト異ナル処アリ且ツ現大統領「ドクトル、サエンス、ペニヤ」(Dr. Saenz Peña)及氏ニ伴フ諸政治家ノ宏量ハ狹隘ナル輿論ノ勃興ヲ許サザル形勢ナルヲ以テ差向キ排日の運動ノ生スベキ虞レアリト云フニアラサルモ執レノ日カ此事アラシハ殆ンド鏡ニ掛ケテ見ルカ如ク感セラル現ニ彼地ニ於テ目下満足ニ労働シ居ル輩モ一樣ニ此感想ヲ抱キ居リテ

加州問題ノ余波カ己レノ身上ニ及ハザルヤヲ痛ク懸念シツ、アリ

日本移民ニ対スル亜国輿論ノ趨勢果シテ斯ノ如クナリトセバ我ニ於テモ予メ之ニ応スルノ策ナカルベカラズ此大勢ニシテ若シ挽回スルコトヲ得ズトスルモ之レカ熟成ノ時期ヲ遅延セシムルコト出来サルニアラサルベシ卑見ニテハ先ツ左記三項ノ実行ヲ急要トス

一、我移民ニシテ亜国ニ赴カントスルモノヲ可成制限スルコト即チ政府ハ從來南米渡航者ニ対シ多少ノ取締リヲ実行シオラルルガ今後モ此緊縮ノ方針ヲ緩メラレザルコト

二、我移民カ亜国ニ到着シタル後ノ配置ニ注意シ可成都會又ハ一地方ニ集合スルコトヲ避ケ内地各方面ニ散乱シテ専ラ農業ニ従事セシムルコト

三、資本ヲ有スル企業家ノ移住ヲ奨励シ国富ノ開發ニ貢獻シ社会ニ有力ナル地位ヲ占メシムルコト

之レナリ領土広大、産業旺盛、人口稀少ナル亜国ニ四、五十万ノ本邦人カ入込ミタレバトテ問題トナルベキ筈ナカルベキモ異人種タルカ故ニ著ク人ノ注目ヲ惹キ例ヘバ一人ノ

本邦人ヲ十個所ニ於テ見タルモノハ十人別箇ノ本邦人ヲ見タルカ如キ感ヲ生スルト一方ニ於テハ言語、風俗、慣習ノ異同アルカ為メニ兎角外人ト混合スルコトヲ避ケ本邦人若クハ支那人ト相集合シテ居住スルカ故ニ一層世人ノ注意ヲ惹クコトトナルナリ約言スレバ本邦人ハ歐人種ニ同化スルコト能ハサル為メ其多数カ外国ニ移住シタル場合ニハ各地ニ小日本の部落ヲ作りテ割拠シ恰モ国内ニ數箇ノ別國興起シタルガ如キ現象ヲ呈スルコトナル是レ實ニ世評ノ種子ト成ル所以ナリ惟フニ本邦人カ能ク歐人種間ニ同化シ得ルコトハ至難ノ事タルベシ唯々一所就中都會ニ集團スルコトヲ避ケ内地各所ニ散在シテ亜國ノ最大富源タル土地ノ開拓ニ貢獻スルコトニ力メシメバ少クトモ排斥論勃興ノ時期ヲ大ニ引延ハスコトヲ得ベシ。

抑モ以上ノ論旨ハ一般之是認スル処ニシテ目下ニ処スルノ策又タ他ニアルヲ見スト雖トモ其實行ニ至テ至難ヲ感ス何ントナレバ単ニ己ノ利益ヲ目的トシ且ツ廣ク四圍ノ形勢ヲ考察スルノ智能ヲ有セザル一般移民ニ向テハ到底如此周匝ナル思慮ノ実行ヲ期スベカラス之ヲ行フ一二帝國官庁ノ親切熱心ナル指導戒飭ニ待ツノ外ナキナリ亞國ニ現在スル

帝國官憲ハ名譽領事ニヨリテ代表セラルルモ元來名譽領事ノ職タル商業報告若クハ個々ノ移住民保護等ノ場合ニアリテハ相當ノ成績ヲ挙グルヲ期待シ得ルモ我移民ノ將來ニ関スル問題之如キニ對シテハ如何ニ其ノ人選宜シキヲ得ルトモ之ニ希求スルニ痛切ナル利害休戚ノ觀念ニヨリ懇切周到ニ我移民ノ指導監督ヲ為サンコトヲ以テスルハ到底不適當ノ事タルヲ免レズ、現任名譽領事「シエフハード」其人ニ就テハ本人ノ性格ニ関スル夥多ノ世評ハ暫ク置キ諸方面ノ見聞ニ徴スルニ平素我邦人ニ對スル同情ニ薄ク其名譽領事ノ職名ハ寧ロ同人ガ因リテ以自己ヲ吹喋且ツ利益スルノ看板ニ利用シ熱心奉公ヲ企求スルノ念慮ヲ欠キ同地ニ於ケル我在留民ノ信賴ト敬愛トヲ失シオルハ事實ナリ因リテ本官先般彼地出張中ノ機會ニ於テ親シク丁寧反覆訓示スル処アリテ多少従前ニ異ナル反響ヲ認メザルニアラズト雖トモ要スルニ今ヤ亞國ニ於ケル本邦人ノ數漸次大增セントスル勢アリテ此際最モ將來ノ為メ細心ノ注意ト措置ヲ要スルニ際シ永ク名譽領事館ノ儘ニ一任シ置クハ頗ル機宜ヲ失スルモノト思考ス亞都ニハ少クトモ正式領事館ヲ設置スルコト目下ノ急務ナリト信ズ

信ス但シ帝國政府財政ノ都合上直ニ実行難相成キ事情モ或ハ之アランカト顧慮セラレサルアルニアラス万一斯ル場合ニモ之レアランニハ焦眉ノ急策トシテ名譽領事館ニ書記生又ハ通訳生一名ヲ駐在セシムルコトニ是非共御詮議相成リタシ

亜國ニ正式領事館設置ノ義ニ関シテハ曩キニ本官帰朝ノ初親シク本省大臣ニ稟申スル処アリ卑言幸ニ考慮ヲ被リ當時ノ事情ニ於テ実行サレ得ベキ方便トシテ南米ニ商務官ヲ派シ之ヲ亜都ニ駐在セシメ兼テ實際ニ於テ領事ノ事務ヲ行ハシムルコトニ内定シタルヤニ承ハリタル次第ナリシガ其後財政整理ノ改革ニ伴ヒ商務官々制廢止セラレタルニ付テハ本計畫ハ自然消滅シタルコトナルベキモ領事館設置ノ問題ハ從而復興シタルコトト信セサルヲ得ズ。亞國ノ隆盛カ廣ク世界ニ紹介セラレタル結果トシテ又北米問題カ我國民ノ視線ヲ南米ニ一転シタル為メ近來伯、秘又ハ北米ヨリ同國ニ転住シ又ハ本邦ヨリ直接渡航スルモノ著ク増加シタリ現ニ是等ノ徒ニシテ本年初以來馬港ニ上陸當地經由シテ陸路亜都ニ向フモノヲ見ル甚ダ少カラズ現ニ一般航路視察ノ為メ當地ニ出張シタル東洋汽船会社重役井阪孝氏ニ對シ鞍駟^{アンデ}子貫通鐵道支配人ガ同鐵道ハ恰モ日本移民通過ノ為メニ出來タルモノノ如シト戲談シタル事實ニ徴シテモ其形勢ノ一斑ヲ窺フニ足ラン。亞國ニ領事館設置ノ必要ハ本省ノ兼テ認識セラルル処ニシテ今更ラ之ヲ喋々スルノ要ナキモ其急務タルノ一事ハ重ネテ之ヲ稟申スルコト本官當然ノ義務ト

尤モ亞國ハ殆ント世界無比ノ物価高貴ナル土地ナルニ據テ加ヘテ羅甸人種ノ特性ト生計ノ潤沢ニ伴フ華美豪奢ノ風ハ一般生活ヲ法外ニ高貴ナラシムルヲ以テ亞都駐在者ニ對シテハ特別ノ給支ヲ為スニアラサレバ生計上ノ困難ハ勿論職務執行上遺憾ヲ感スルコト少カラサルベシ一例ヲ示セバ本邦ニ於テ中學ヲ卒業シタル位ノ青年ニシテ彼地ニ於テ工場會計若クハ技師等ノ助手ト云フガ如キ地位ヲ占ムルモノハ月百五十弗乃至二百五十弗(紙幣一弗ハ我八十五錢ニ當ル)ノ給金ヲ得ル振合ナレバ同國ニ於テ事實上館々長トシテ在勤スルモノハ其地位ノ如何ニ拘ハラズ少クトモ毎月五百弗ノ收入アルヲ要ス。人撰ニ関シテハ本省ニ於テ御詮議相成ル義ト存シ候ヘ共當館在勤三隅通訳生ハ最モ適任ニハアラサルカト思料スルニ付右御參考ニ供シタシト存ス同官ハ帝大卒業生ノ肩書ヲ有シ年齢モ恰好ニシテ南米ノ事情ニモ

既ニ精通シ語学ニモ熟達シ居ルコトトテヨリ以上ノ適任ハ他ニ少カルベキ乎ト思考致候。領事館ノ事務所ハ名譽領事自ラ之ヲ設置スヘシト思料スルモ（本件ニ関シテ未タ正式ニ領事ニ交渉シタルコトナキモ内々其意向ハ探リタルコトアリ）領事館ニハ同地在留民中ヨリ雇員一名ヲ採用スルノ必要アルニ付キ其月給本邦貨ニテ約百三十円ト外ニ筆紙墨

郵便代（之レハ秘露名譽領事館ニ書記生在勤シタル時代ノ支給額ヲ三割増ニシタルモノニテ足ランカト思考ス）等ハ別ニ支給スルヲ要ス
右報告旁及稟申候也

事項一二 朝鮮ニ於ケル外国居留地整理一件

二〇七 一月二十七日

桂兼任外務大臣ヨリ
寺内朝鮮總督宛

在鮮各国居留地整理ノ下協議ニ関シ在本邦獨
國大使ヨリ申越ノ件

機密第八号

本件ニ関シ本月二十三日附機密送第七号末段ヲ以テ在本邦獨逸國代表者ニ対シテハ至急當該領事官ニ訓令方目下督促中ノ趣申添置候処今般在本邦獨逸大使ヨリ同國政府ハ在京城同國總領事ドクトル、クリューゲル (Dr. Krüger) ヲシテ本件居留地整理ノ下協議ニ与カラシムヘキ旨訓令ヲ下シタル趣申越候就テハ右ニテ本件關係國ハ總テ夫々當該領事官ニ訓令済ニ有之候間貴地ニ於テ開談ニ必要ナル手續取運相成度右通牒旁々申進候也

二〇八 二月十九日

寺内朝鮮總督ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

在鮮各国居留地整理ニ関スル下協議會開始ノ
件

一一 朝鮮ニ於ケル外国居留地整理一件 二〇七 二〇八 二〇九

機密送第二三号

居留地整理ニ関スル下協議會第一回ヲ本月十七日当府ニ於テ開キ外事局長及英、米、独、仏、露、白各領事官全部出席予テ御協議ニ及ヒタル整理方針ヲ原案トシ第五項迄協議シ各項トモ多少ノ修正意見ヲ提出セリ其ノ内容ニ付テハ追テ詳細通報ニ及フヘシ尚獨逸總領事ヨリ壤地利洪牙利國カ各国居留地ニ利害關係ヲ有スルニ拘ハラズ本會議ニ参加セサル理由ヲ質問セシニヨリ外事局長ハ同國ハ居留地約定ニ調印シ又ハ之ヲ承認シタルコトナキヲ以テ本會議ニ加ハラサル次第ナリト答ヘ置ケリ

二〇九 三月二十日

牧野外務大臣ヨリ
寺内朝鮮總督宛

朝鮮各国居留地整理ノ下協議會ニ「デンマーク」國及壤洪國ヲ参加セシムベキヤ否ヤニ付
照會ノ件

附記

右下協議會ニデンマーク國ヲ招請セザリシ理由
ニ付在本邦露國大使ニ為サレタル説明案

二九七